

## インフラ・災害対応カテゴリのプラットフォームロボットについて

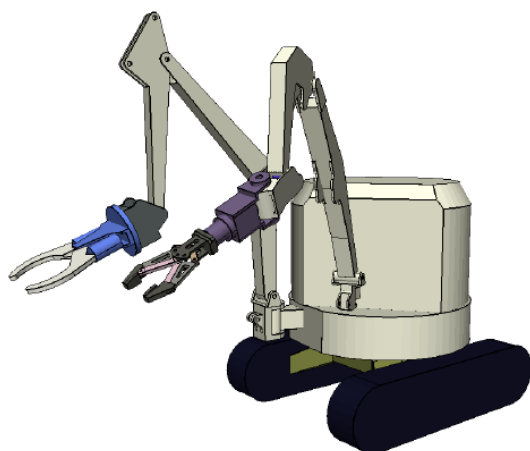
インフラ・災害対応カテゴリの競技種目のうち、トンネル事故災害対応・復旧チャレンジのシミュレーションで使用するプラットフォームロボットについて、公募の結果、早稲田大学の「WAREC-1」と、大阪大学の「双腕ロボット」の2つが採択されました。

2018年のプレ大会の本種目では、本プラットフォームロボットのシミュレーションモデルが競技参加チームに提供され、競技が行われる予定です。

図1：早稲田大学「WAREC-1」イメージ



図2：大阪大学「双腕ロボット」イメージ



以上